

第40回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	上島ゼミⅡ
チーム名	チーム UESHIMA
タイトル	仕事と家庭の両立
テーマ群	c)公共経済
メンバー	◎松本将嗣・新井淳平・石川崇・阪本ゆま 庄瀬真那・宮地沙耶・米村祐美
研究計画内容	<p>私たちは、女性の仕事と育児の両立問題に目を向けました。日本では、育児休業の制度があまり充実していません。制度があったとしても、ほかの社員への負担や迷惑を考えて、あまり取得できない場合や、復帰後の仕事に対する不安感から、取得しようとしにくいケースが多く見られます。</p> <p>また、「男性は外に出て働き、女性は家において家事や育児をするもの」という日本特有の固定概念がまだ残っています。それによって、男性が育児に参加しようとしなかったり、女性が働くこと自体を嫌がる男性もいます。たとえ夫が理解を示してくれていたとしても、夫の会社の社員が男性の育児に理解がなければ、育児のために会社を休むことはなかなかできないでしょう。</p> <p>福祉の面からみても、海外では育児支援が充実しているのに対し、日本では、やっとな育児支援金の給付や高校の授業料無償化が始まったばかりです。保育所が足りておらず、待機児童が増え、子どもを預けて満足に働くことができない女性が多くいるのも問題です。</p> <p>そこで私たちは、実際に企業などにインタビューし、現状をより深く知るとともに、働いている方からの意見を参考に、解決策やあったらいい育児制度などを提案したいと思います。</p> <p>また、甲南大学で男性で育児休業を取った、乾さんにもお話を聞き、男性の育児休業について生の声を聞きたいと思っています。</p> <p>そして、育児支援制度の充実した国を参考に、日本も取り入れるべき育児支援を考えていきたいと思っています。</p>